

さんこ
こたえ 三顧の礼はってん
発展 ①さんこ
三顧の礼

(中国の故事)

昔、中国が三つの国に分かれて争っていた時代、劉備という武将がいました。劉備は、人々のための国を作りたいという大きな志をもっていました。劉備は、戦を立てる、すぐれた軍師もいませんでした。

あるとき、劉備は、山おくの小さな家に、諸葛亮という、たいへんかしこい若者が住んでいると聞きました。劉備は、自分よりずっと若いその人物に、ぜひ力を貸してほしいと考え、自ら、その家まで訪ねていきました。

ところが、一度目は留守で、会えませんでした。二度目は、冷たい雪の中を訪ねましたが、やはり会えませんでした。家来たちは、「わざわざ將軍が出向くほどの者ではありません。」と、劉備をいさめました。

けれども、劉備はあきらめず、三度目にも訪ねていきました。ようやく会えた諸葛亮は、劉備の熱意に心を動かされ、劉備に仕えることを決心しました。その後、諸葛亮は、劉備の国を支える名軍師として大いに活躍しました。

この話から、目上の方が、礼をつくして、すぐれた人を何度も訪ねて招くことを、「三顧の礼」というようになりました。

1

劉備が訪ねていった若者の名前は、何ですか。

し
よ
か
つ
り
よ
う

2

劉備が、諸葛亮を訪ねたのは、どうしてですか。

作戦を立てるすぐれた軍師がおらず、諸葛亮に力を貸してほしかったから。

3

家来たちが劉備をいさめたのは、どう考えたからですか。

ア

將軍が出向くほどの者ではないと考えたから。

イ

雪が危ないと考えたから。

ウ

諸葛亮が敵だと考えたから。

4

諸葛亮が、劉備に仕える決心をしたのはどうしてですか。

三度も訪ねてきた劉備の熱意に、心を動かされたから。

5

「三顧の礼」の意味に合うものに、○をつけましょう。

ア

礼をつくして、すぐれた人を何度も訪ねて招くこと

イ

三回あいさつをすること

ウ

三人で協力すること

おうちの方へ

- 「顧」は、訪ねるという意味です。人を大切にする態度について話し合ってみましょう。